



大学入試合格速報 (2月6日判明分)

広島大学、県立広島大学、広島市立大学、山口大学、山口県立大学、早稲田大学、明治大学、千葉工業大学、東海大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学、安田女子大学、広島文教女子大学、広島工業大学、吉備国際大学、福岡大学、九州産業大学 …他

合格おめでとうございます！！

自分をカエル春にする！春期講座のお知らせ

3月27日～4月6日の日程で春期講座を実施します。
新学年に向けて、既習内容の学び残しを解消しておきましょう。
詳細につきましては別紙提案書をご確認ください。

アクシア三択クイズ

先月の答えは【C】です。

遅生まれは何月何日からでしょう？

A：3月31日 B：4月1日 C：4月2日

今月の TOPIX ～センター試験アドバイス【英語、数学Ⅰ・A】～

センター試験とは

国公立大学の共通一次試験として始まったテストで、大学入学志願者の高校段階の達成度を判定することを主な目的としています。平均点が6割程度になるように作られており、難問や奇問を排除した良質な問題で構成されています。ただし、制限時間に対して問題量が多いため基礎レベルの問題でも対策が必要となってきます。

全体概観【英語】

大問6題からなる全体構成、それぞれの設問数、マーク数、配点とも昨年と同じで、形式面の変化は見られませんでした。また、出題内容における傾向の変化もありませんでした。今年の総語数は約4300語で、ここ6年続けて4000語を超える出題となっています。

学習アドバイス①英語

センター試験の英語では、発音・アクセント・文法・語法・語彙・英作文・口語コミュニケーション・英文読解からなる6題の大問を英語の知識・情報処理力・読解力を総動員し、得点につなげることが求められます。80分という制限時間内で高得点を狙うには、基礎学力である語彙・文法を完全な知識として身につけた上で、読解力を鍛えることが必要です。こうした力は一朝一夕に付くものではなく、日頃から英語を日常生活の中で「読み・書き・聞き・話す」時間を出来る限り増やすことで総合的な英語の力を高め、さらに演習量を多く積むしか対策はありません。つまり、基礎力を身につけた上で、何度も予行演習を繰り返すことによって本番で結果を出せるのが、センター試験なのです。次年度以降、問題構成が多少なりとも変更されたとしても、どんな問題にも対応できる確実な英語力を養いましょう。

全体概観【数学Ⅰ・A】

数学Ⅰ分野の第1問は3つ、第2問は2つの小問に分かれ、第2問[2]の「データの分析」では、昨年と同様に散布図、ヒストグラム、箱ひげ図の読み取りを中心とした問題が出題されました。第3問の「場合の数と確率」では、事象の組合せを問う問題が目新しく、また、昨年に続き、新課程内容の条件付き確率が出題されました。第4問の「整数の性質」は、倍数・約数に関する問題で、自然数の決定、約数の個数、記数法などが出題されました。第5問の「図形の性質」では、方べきの定理、メネラウスの定理、角の二等分線の性質などを用いる問題が出題されました。大問数は変化なく、分量にも大きな変化はありませんでしたが、総じて易化したといえるでしょう。

学習アドバイス③数学Ⅰ・A

センター試験の数学Ⅰ・Aでは、その年の問題の難易度変化に関わらず高得点が求められると考えて準備しておく必要があります。数学Ⅰ・Aは、高校数学の土台ともいべき分野なので、基本の理解を問う出題が多くなっています。大切なのは、基本を早期に確実に理解し、問題演習を繰り返し限られた時間内で正答を確実に導く力を作ることです。

(出典：東進センター試験解答速報)

